

主要事業評価シート(第1次実施計画／H29・30・31年度)

① 基本事項	計画コード		事業名			部名	総合政策部		
	17067		リニア中央新幹線亀山駅整備基金積立事業			課名	政策課 政策調整G		
	施策体系	施策の大綱	03:交通拠点性を生かした都市活力の向上				財務科目	会計	01:一般会計
		基本施策	05:広域的な交通拠点性の強化					款	13:諸支出金
		施策の方向	01:リニア中央新幹線市内停車駅の誘致の推進					項	01:基金費
		戦略プロジェクト	-					目	03:リニア中央新幹線亀山駅整備基金費
	事業予定期間		H 8	～	H -	年度	主な根拠法令要綱等		

② 目的・概要	対象	市民
	目的	リニア中央新幹線亀山駅整備基金の積み立てを行い、リニア中央新幹線の市内における停車駅の整備事業を展開する際の財源を確保する。
	概要	リニア中央新幹線亀山駅整備基金の計画的な積み立てを行う。なお、積立額は、毎年度の財政状況を勘案し、適切な額を積み立てることとする。

③事業の計画・実績

	平成29年度		平成30年度		平成31年度	
年度計画	○リニア中央新幹線亀山駅整備基金の積立		○リニア中央新幹線亀山駅整備基金の積立		○リニア中央新幹線亀山駅整備基金の積立	
年度実績	○リニア中央新幹線亀山駅整備基金の積立 50,030千円					
事業費	計画額	事業費	50,000千円	50,000千円	50,000千円	
		国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他	3,100千円	3,100千円	3,100千円	
		一般財源	46,900千円	46,900千円	46,900千円	
	予算額	事業費	50,030千円	50,000千円		
		国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他	4,476千円	4,718千円		
		一般財源	45,554千円	45,282千円	0千円	
	決算額	事業費①	50,030千円			
		国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
		一般財源	50,030千円	0千円	0千円	
	人件費	総人件費②	77千円			
		一般職員	77千円			
		所要人員	0.01			
		臨時職員等	0千円			
	総コスト(①+②)		50,107千円			
受益者負担率		0.0%				

				平成29年度	平成30年度	平成31年度
④ 指標	①	名称	リニア中央新幹線亀山駅整備基金積立額	計画値	50,000	50,000
				実績値	50,030	
				単位	千円	千円
	②	名称	リニア中央新幹線亀山駅整備基金残高 平成27年度末残高: 1,550.904千円	計画値	1,650,000	1,700,000
				実績値	1,651,063	1,750,000
				単位	千円	千円
	③	名称		計画値		
				実績値		
				単位		

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 今後も厳しい財政状況が続くことが見込まれるが、東京・大阪間の早期開業と市内停車駅誘致を見据え、リニア中央新幹線設置後に、駅を中心としたまちづくりを早期に実施するための財源として、着実に積み立てを行っていく。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 継続的な積み立てを行っていくため、本年度も約5千万円の積み立てを行った。

評価		(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 リニア中央新幹線亀山駅整備基金に50,030千円を積み立て、積立残高を約16億5千万円とした。 A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 前期基本計画の目標積立額である20億円に向けて着実な積み立てを行うことができ、リニア中央新幹線市内停車駅の整備事業を展開する際の財源確保に繋げることができた。 A 十分な成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 財政状況が厳しい中においても、リニア中央新幹線市内停車駅設置後に、駅を中心としたまちづくりを早期に実施するための財源として、着実に積み立てを行っていく必要がある。	今後の方向性	☐ 拡大	
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 引き続き、着実な積み立てを行っていく。		☒ 現状維持	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 着実な積み立てを行っていくことで、リニア中央新幹線市内停車駅設置後に、駅を中心としたまちづくりを早期に実施することができるとともに、駅誘致に向けた姿勢を内外に示すことができる。		☐ 縮小 ☐ 廃止 ☐ その他	
対応時期			平成30年度～	【その他の場合、その内容を記載】	

【1次評価者】	総合政策部 政策課 政策調整グループリーダー 堤 大介
【最終評価者】	総合政策部 政策課長 豊田 達也